英語技能別演習（再履修）

Orientation

志柿 浩一郎
Koichiro Shigaki

2026年度 秋学期　木曜4限

今日の90分

話を聞くだけの回ではありません。最後は声を出して終わります

- 0〜10分　この授業は何をするところか
- 10〜20分　教室のきまり
- 20〜45分　目的と評価。**ここに時間をかけます**
- 45〜60分　先生の自己紹介。英語でやります
- 60〜75分　学習プラットフォームの入り方。画面でやってみせます

- 75〜90分　英語で挨拶して、自己紹介してみる。質問

この授業は何をするところか

英語の単位を、もう一度取りにきた人の授業です

「英語が苦手」「英語は嫌い」という気持ちがあっても問題ありません

やることは3つだけ

- **聞いてマネする**。映画・ドラマ・YouTube・ポッドキャスト。興味のあるもので
- **声に出す**。考えずに口が動く状態を目指す
- **やり取りする**。完璧な英語ではなく、通じる英語

難しい文法も、複雑な読解も、やりません

シンプルな練習を繰り返して、英語を使う感覚を体に入れます

教室のきまり

持ち物と出席

第1回｜オリエンテーション

- PCかタブレット。毎回必要です。スマホだけでは足りません
- イヤホン
- 点呼に返事をします。点呼のあとに来たら、自分から申し出ます
- 名前を覚えるまでは点呼でやります。評価のためというより、名前を覚えるためです

席と遅刻

第1回｜オリエンテーション

- 席は第1回か第2回に決めます
- 遅刻2回で欠席1回。理由なく20分を超えた遅刻は欠席扱い

- 無断での入退室はしないでください。体調が悪いときなどは、教員に伝えてから出てください

授業中の過ごし方

第1回｜オリエンテーション

- 授業と関係のないことをしているのが見えたら、欠席とみなします。事前に忠告はしません
- **英語での雑談は練習になります。だから可です。**先生も会話に入ります
- 日本語で雑談していたら、絡みに行きます

わからないときは、英語で言う

- わからなかったら、わからないと英語で言う
- それでも珍紛漢紛だったら「ごめん、日本語で言ってくれないか？」も英語で聞いてみる
- **とにかく使え**

目的と評価

シラバスには細かいことを書いていますが

シラバスに書いた到達目標

第1回｜オリエンテーション

- 英語を聞いて、そのままマネして発音できるようになる
- シャドーイングを通じて、英語のリズムとイントネーションを体得する
- 簡単な英語で自分の考えや日常のことを伝えられるようになる

- 英語での雑談や簡単なやり取りができるようになる

シラバスに書いた到達目標（続き）

- 間違いを恐れず、英語を使ってみようという姿勢が身につく
- AIアプリを含むツールを使い、自分のペースで学習を継続できるようになる
- 英語学習を「苦痛」から「まあまあ楽しい」に変える

と、書いたのですが

ここまでいければいい、というやつ

- **将来の武器として英語を捉える**
- 自信をつける。「英語できないんでー」みたいなことを言わなくていいようにする
- 学習方法を学ぶ。独学で訓練できるようにする
- メタ認知能力を上げる。自分の今の能力を理解して、それを上げる

「英語は教養科目の単位とるためなんでー、お手柔らかに」から脱却する

単位を取りたいなら、きちんと訓練していってください

何で成績をつけるか

第1回｜オリエンテーション

項目	割合
授業内活動への参加と貢献度	30%
授業内課題（シャドーイングと対話）	25%
学習ポートフォリオと授業外課題	30%
その他（振り返りレポートなど）	15%

- 詳しい基準は授業サイトの「成績評価」に全部出しています

音読やスピーチは、できたか、できていないかで見ます

穴埋めテストでは測りにくい。反応とパフォーマンスを見る必要がある

見る項目は、ずっとこの6つです

- チャンキングの正確さ
- 英語らしさ（リズム、イントネーション、ポーズ、ストレス）。ネイティブ風に、ではありません
- 流暢さ（スピード、必要なところでのポーズ）
- 全体的な内容伝達
- 聞いた音の再現度（ものまね）
- おまけ：読んだときのエネルギー、姿勢（割合は大きくない）

最初のころと最後をくらべて、その差も加点します

同じ課題を学期のはじめと終わりに2回出してもらうのは、そのためです

出席点は「座っているかどうか」ではありません

クラスへの貢献度、積極度。自ら動いているかどうか

学習記録と課題の数は、やったか、やっていないか

- こちらは点の良し悪しではなく、**回数**で見ます
- 普通に訓練と課題をしていれば、可になります。楽単だと思ってもらっていい。ただし出すものを出せばの話です

- 何もしなければ落単になるし、怠ければその分だけ能力の上がりは鈍くなる

なまけ、なにもしない ＝ そこは自己責任 ＝ 不可につながる

提出と期限

締切の日付は、授業サイトに全部出ています

- 提出先は学習プラットフォーム。メールでの提出は受け取りません

- **この授業は毎週1本**。締切は毎週日曜23時59分。10月11日から
- 毎週の分は、出したか出さなかっただけ。点はつけません
- そのうち4回（11/15・11/29・12/13・1/10）だけ、中身も見ます

- 遅れると満点が下がるルールは、その4回にだけかかります

「75点あげます」ではなく「75点満点で採点します」

中身が8割なら、60点です

先生の自己紹介

どれくらい聞き取れましたか

質問に、学習プラットフォームで答えてください。第2回の前日まで。自己紹介の録音とセットで、いまの「聞く」と「話す」を見ます

学習プラットフォーム

入り方

gengodojo.app

- Google でログイン
- 配られたリンクかコードで、自分のクラスに入る
- ホームの「授業の課題（必須）」に、課題が並びます

課題の出し方

画面でやってみせます

- 見本を聞く → 録音する → 評価が出る。何回でもやり直せます
- 決められた回数を練習すると、提出できます。いちばん良い回が選ばれます
- 提出すると「✓ 提出完了」に変わります

ここに残るもの

第1回｜オリエンテーション

この授業の課題

毎週の課題はここから出す。提出の記録も残る。

先生からのFB

先生のコメントはここで読む。

ポートフォリオ

授業外で英語に触れたことを、自分で1つずつ書く。成績の30%はここと課題の記録。

自動の評価

録音には、その場で自動の評価とアドバイスが返る。推移も見られる。

自動の評価は、読まなくてもいい

読むなら、直せと言われた1つだけ。雑でいいから回数

声を出して終わります

英語で挨拶して、名前を言う

まず先生がやります。そのあと、隣の人と

- Hi, I'm ... / Nice to meet you.
- Where are you from? / What's your major?
- 止まったら　Sorry, could you say that again?

次回までの課題

締切は10月11日（日）23時59分

- 学習プラットフォームで、**自己紹介の1〜2文**を録音して出す

- 日本語で考える → 英語にする（AIに直してもらってよい。直す前の自分の文も残す）→ 見本の音を聞いて真似る → 自分の声で録音
- ここから毎週1本です。1日10〜15分

自己紹介の録音について

- AIからフィードバックが返ってきます。出せば加点します。遅れたら加点は半分
- いまの話す力を見るためのものでもあります。今日の聞き取りとセットです
- AIに読ませた音声を、自分の録音として出すのは不可

質問と連絡

- 履修や事務手続きのことは、大学メールから kshigaki@imc.hokudai.ac.jp へ
- 英語の授業のことは、学習プラットフォームの質問箱から

- 研究室は S410。授業のあとでも聞いてください

Questions?

授業のこと、学部のこと、大学のこと、先生のこと、何でも